

# キラリ★卒業生！ No.6

佐賀県立高志館高校進路指導部 R4.3.30

3月18日(金曜日)に2年生の進学希望者を対象に、卒業生との座談会を実施しました。2年生が希望する11分野に進学した卒業生に集ってもらい、進学先での生活やお金の話など、身近な先輩だからこそ聞ける話をたくさん話してもらいました。その中で、今回は平成30年度卒業の2名の先輩にインタビューしました。西九州大学子ども学部の西久保さん(21)と同大学看護学部に進学した小副川さんです。高校時代、西久保さんは剣道部主将や体育祭応援団長として、小副川さんは農業クラブで学校の中心となって活躍していました。来年度は大学4年生となり、大きな人生の分岐点を迎えます。

西九州大学子ども学部 西久保 辰弥さん

## Q1 高校生活はどのような生徒でしたか。

高校の時の私は、特に勉強が苦手で他にも苦手なものばかりでしたが、友達や先生方に助けて貰いながらも全力で取り組む生徒だったと思います。部活動では剣道部に所属していました。決して強くはありませんでしたが、高校時代に頑張った事として今でもいい思い出となっています。



## Q2 どうしてこの学部に進学したんですか？

私が幼い時に東京の保育園に通っていて、その時によく遊んでくれてとても印象に残っているのが男性の先生でした。自分が子ども好きということもあり、将来は保育園でお世話になった先生のようになりたいと思ったので、大学の子ども学部を選びました。

## Q3 大学卒業後はどんな進路を考えていますか？

大学に通い始めてアルバイトとして色々なイベントに参加したんです。その時に、イベントに参加して楽しんでいる人の様子を見ているうちに、私も人々の生活を少しでも楽しくできるようなお手伝いができればと思うようになりました。できれば子どもも好きですし、今大学で学んでいることも活かして、「キッズニア」など子どもの遊戯施設の運営に関わるような仕事ができればと思っています。

## Q4 後輩へのメッセージ

就職、または進学をする方がほとんどだとは思いますが、高校生活は一生に一度しかありません。今の高校生活の中で「将来への準備」と「全力で楽しむ事」を両立させて卒業した時には「高志館での3年間、とても楽しかった」と思えるように、残りの高校生活を充実させていってください。応援しています！

## Q1 進路はどうやって決めたんですか？

もともと看護師になりたかったわけではありませんが、母が看護師をしていたこともあり、身近な職業だったので、大学で看護について学ぼうと思いました。働きながら看護学校に通う道も考えたのですが、できるなら、4年間集中して勉強に取り組む方が自分に合ってるかなと思ったからです。



## Q2 進学して大変だったことはどんなことですか？

特に悩まずあまりにも普通に看護学部を選んだので、実は看護師の仕事についてはあまりよく調べていませんでした。だから実際に病院に実習に行った時は壮絶でした。点滴を打つとか、患者様の話を聞いてコミュニケーションをとるとか、そういう表面的なことしか想像していなかったもので、ショックを受けることが多かったです。今ではもう慣れましたけどね。それから、勉強についていくのも大変です。高校時代の試験勉強は、前日から行ってもなんとか点数をとることが出来ていましたが、大学に入ってからでは遅くとも2週間前から講義資料をまとめて勉強をしなければ、80点以上をとることが難しくなりました。また、丸暗記では自分の知識を活かして実習に生かすことが出来ません。そのためコツコツと毎日学修することが大切です。

## Q3 大学に進んでよかったこと

4年間を通してゆっくり看護について学べることです。西九州大学では看護師の資格だけでなく、保健師や養護教諭の資格も取得することができるので、卒業後の進路は病院や県庁、学校など人によって様々です。また、大学では時間的に余裕があるのがよかったことですね。現在はコロナ禍で行けないのですが、講義がない日に友達と県外に遊びに行ったりと勉強だけでなくプライベートも充実させることができています。

## Q4 将来の夢は

私の夢は病院で看護師として働くことです。病院の中で1番身近な存在は看護師だと思うので、患者様の抱えている不安な気持ちに寄り添いたいと考えています。また医療はどんどん進歩していくので、国家試験に合格して看護師として働くという夢で終わらせず、定年を迎えるまで日々学び続けて質の高い看護を提供していきたいと思っています。